



栗原の魅力を写真で再発見

2月26日(土)から3月6日(日)まで、栗原文化会館で「第15回栗原市写真展」を開催しました。栗駒山の紅葉や寒中みそぎ、農作業の様子など、栗原の自然、文化、人を捉えた作品99点が並び、来場者の目を引いていました。鶯沢細倉地区の街並みを再現したジオラマを撮った作品もあり、名取市から訪れた細倉出身の男性は「学校に子どもがたくさんいて、にぎやかだった昔を思い出しました」と、懐かしそうに語っていました。



学びの成果を発表

2月18日(金)と19日(土)、東北職業能力開発大学校で、学生が研究成果を発表する「第20回東北ポリテックビジョン」が開催されました。会場には、ソーラーカー用に開発されたブレーキや、リモコンで走るくりでんミニ車両などが展示され、来場者は関心を寄せていました。また、金属を回転させながら、削ったり穴を開ける旋盤加工の技術競技会や、ロボット競技会なども開かれ、学生たちは日々の学習で培った技術力を披露していました。



令和4年度市防火標語決定

市民に広く火災予防を呼び掛けるため、市内の小学5年生を対象に防火標語の募集を行いました。審査の結果、応募総数455点の中から、若柳小学校の小島凜来さん(若柳町館)の作品「消したかな 気になるときは すぐ確認」を最優秀賞に選びました。小島さんは「火事で大切な物が失われてしまうので、火事のない栗原になってほしいという思いを込めました」と話していました。この作品を令和4年度の市防火標語として、毎戸に配布するなど、活用していきます。



新たな地域おこし協力隊員を任命

3月1日(火)、栗原市地域おこし協力隊員として、前田朝子さんに委嘱状を交付しました。前田さんには、栗原を訪れる人や移住する人が増えるよう、交流・移住プラットフォーム創出プロジェクト推進業務に従事していただきます。埼玉県出身の前田さんは「栗原の自然と食の豊かさを、全国の人に知ってもらえるような活動をしていきたいです」と、意気込みを語りました。市では、総勢13人の地域おこし協力隊員が活動しています。



元清水町議会議員
高橋武さん
(高清水9区)

旭日単光章

このたびは、身に余る勲章をいただき、大変光栄に思います。これも地域の皆さまによるご支援、ご指導のおかげで長年励むことができたと感じており、深く感謝申し上げます。



公共に対して尽力され、年齢が満88歳に達した功労者に授与される勲章です。



元公立小学校長
高橋靖明さん
(栗駒四日町)

瑞宝双光章

教科指導員として市内の幼稚園を回ったことや、子どもたちと一緒にスキーをしたことが懐かしいです。このような章をいただき、とても光栄です。ありがとうございます。



元公立小学校長
新沼護さん
(金成沢辺下)

瑞宝双光章

章をいただき、担任した子どもたちの顔や声がありありとよみがえります。同僚や皆さんからの支えと助けに、感謝の念でいっぱいでした。



温もり感じるくりでん絵画展

くりはら田園鉄道の魅力を感じ、子どもたちに親しみを持ってもらうため、市内の小・中学生を対象とした「くりでん絵画展」を開催しました。全172点の応募作品の中から、栗原南中学校1年生の後藤亜花里さんの作品を最優秀賞に選出し、2月5日(土)にくりでんミュージアムで表彰状と副賞を贈呈しました。後藤さんは、作品について「昨年のくりでん創業祭に来て感動した気持ちを描きました」と話していました。



(左から)高橋さん、森山さん、金野さん
長寿100歳おめでとうございます

2月10日(木)に高橋ちたふさん(一迫嶋)、15日(火)に森山きちよさん(鶯沢秋法上)、25日(金)に金野ちよこさん(若柳上在)が、100歳を迎えられました。高橋さんは、大好きな相撲と韓国ドラマを、テレビで欠かさず見ているそうです。森山さんは魚が好きで、刺身や寿司を食べるのが、楽しみの一つのこと。金野さんは、歌番組を見ることを楽しみにしていて、番組を見ながら口ずさむこともあるそうです。